

○ 高校生の作文

【近畿税理士会西支部長賞】

税の使い方と今後について

大阪市立西高等学校 二年

澤村 梨奈

最近、消費税が五パーセントから八パーセントに上がりました。それにより、国民はかなり負担が大きくなりましたが、増税しないといけない理由があるのであれば仕方ないと思っています。

しかし、最近のニュースで話題になった議員については、おかしい点がいくつかあると思います。使用についてもそうですが、弁論の会見においての発言は、意味のある内容とは感じられませんでした。国民が納めている税金が、いつ、どのように使用されたのか、これを提示することはとても重要なことであるにもかかわらず、簡単な内容を示し提出したことから、この作業がいかに重要なものであるかを理解していないのではないかと思います。一人でもこのような人物がいたとわかると、他の議員も税金の使い方方を誤っているのではないかとという疑問や不安が生まれてきます。民に選ばれた者はその民のために尽くすべきです。それは、税金の使い方一つでも変わらないことだと私は考えます。この件について、今後は税金の使用に関する強化を行っていかなければならぬのではないのでしょうか。税金を権力者の意思で無駄使いしようと思わせないような対策を考えるべきです。

次に、オリンピック開催に向けて色々な整備や建物が建てられることについてです。オリンピック開催については私個人としても嬉しいのですが、整備や建設に使われる費用の中に税金がたくさん使われています。オリンピックを見るために海外からたくさんの方が日本に来ると考えられるため、その人

達をおもてなしするために色々なことをするのだと思います。しかし、日本は以前大きな地震が起こり、復旧もまだまだ完璧とは言えません。仮設住宅で暮らしている人もまだいるでしょう。そういった、被害にあった国民のために税金がつかわれるべきだと思います。オリンピック開催において、震災にあった人々の心は躍るかもしれませんが、生活的には苦しいままです。おもてなしの精神よりも、今は思いやりの精神が大事なのではないかと思えます。

最後に、増えてばかりの消費税が今後減るかという疑問についてです。

一度増税すれば減税することがないというイメージが強いのですが、この先も増税され続けると困るのは、国民です。いくら税金を国のために使用していると言っても、消費税というのはいくらでも支払わなければならないので増税の数字と共に国民の不満も大きくなるのです。

今まで減税するところを見たことがないのですが、国は消費税を減らすことを考えないのか、とても疑問に思いました。

国民から税を取るのであれば正しい使い方方で胸を張って国民のために使ったと言えるようにし、減税のことも考えてほしいと思いました。